

今週のセルグループ(赤字)			6月13日(日)~6月19日(土)	
セル(グループ)	次回の日時	場所	前回の証しなど	
リバイバル 北山姉	6/13(日) 礼拝後	LINE 電話	6/6 2名	「今、喜んですすんでしていることか？」と自問して生活しました。
グレイス 鈴木千姉	6/18(金) 午後8:30	鈴木宅	6/4 3名	聖書は古いことばでなく、いつも新しいと示された。自発的に聖書を読みます。
Gospel 鈴木尚姉	6/27(日) 礼拝後	交わり	5/23 3名	楽しい交わりの時を過ごすことができました。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	6/6 9名	祈りの中で神様の性質を覚えて感謝するとき、自然とやる気が湧き上がってくる。
からし種 磯貝姉	6/24(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	5/27 4名	自分ではできないけれど神様がともにいてくださるのでできると思った。
ユース 岩下兄	6/27(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	6/6 3名	自分から態度を改めたことで、家の中の雰囲気も変わり、心に平安が与えられました。
Rock 鈴木洋兄	6/23(水) 午後8:30	鈴木宅	5/26 4名	食事の交わり
シャローム 平岩姉	6/19(土) 午前10:00	平岩宅	5/22 3名	妬みだと確信した。なぜやる気がないんだろうと思っていたが主が教えてくれた。
なつめやし 高橋智姉	6/27(日) 礼拝後	高橋宅	6/6 5名	心の中にある頑な部分が砕かれた。救われた最初の頃のように、心の中が静かになった。
リジョイス 杉本姉	6/17(木) 午前10:15	佐尾山宅	5/25 3名	神様を信じて山は動くと言われたので励まされた。
ジョイフル 穂刈兄	6/17(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	6/6 10名	新しい方々をお迎えして、主にある楽しい交わりの時間を持ちました。
アガペ 長塚姉	6/13(日) 礼拝後	コミュニテ ィセンター	5/30 4名	主はこの山を動かして下さると祈っている。
サクセス 鈴木勝兄	6/13(日) 礼拝後	交わり	5/30 17名	毎週、お母さんと会えていることが奇跡。
リーダーズ セル	7月はお休み	Zoomで 分かち合い	5/12 23名	互いの必要のために祈りました。
セル研修	休講			
ビジョン 平岩恵兄	6/20(日) 午後1:00	コメダ	5/30 4名	食事の交わりをして恵まれました。
worship 長塚寛兄	6/20(日) 午後1:00	コメダ	5/30 4名	食事の交わりをしました。
高校生 平岩姉	6/13(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	6/6 2名	素直に主の言うことに従ったら、あんなに多い課題がみるみるできていった。
中学生 梅田姉	6/13(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	6/6 4名	祈ってないと勉強が続かない！祈ったら、やることも、計画的に集中して出来た！
キッズ2 小山姉	6/13(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	6/6 3名	セルリーダーのために祈りください。
キッズ1 芳井姉	6/13(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	6/6 3名	悪魔がいるって、嘘つきってわかった。
Shine 小原姉	6/13(日) 礼拝後	交わり	5/23 3名	今回ばかりは「助けて！」と神様に言えるようになってきました。
ギデオン 芳井兄	6/26(土) 午後6:30	芳井宅	5/22 2名	今後同様なことがあった際はすかさず祈れますように。祈れば成就するとわかった。
カルバリ 野田兄	6/15(火) 午前9:00	野田宅	6/1 5名	神様を思い出して黙りました。自分では考えてもいない言葉が出て、相手に気付きが。中止にしました。
神の家族 伊岐見真姉	6/26(土) 午後7:30	LINE 電話	5/29 名	

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会		
		司会	奏楽	奏楽		
今週	6/13(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	6/17(木)	大高愛姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		
来週	6/20(日) 父の日	I	大高愛姉	鈴木千姉	6/24(木)	鈴木千姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		

※ 6/15(火)のバイブルスタディは配信で行います。午後1時、7時。テキストが「イエス・キリストはもう一度来られる」に代わっています。また、Zoomでも受講できます。(昼の部のみ) (Zoomを希望する方はメールで連絡して下さい。申込先 david@revival.jp)

※ 6/16(水)の浜松バイブルスタディは休講になります。

※ 日曜礼拝バイブルスタディの補講が始まっています。第二礼拝と並行して行われます。第一礼拝に出席してからご参加ください。受講者には係から直接連絡があります。祝福をお祈りください。

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルマズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈祷会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷 (土曜)	午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1351

2021年6月13日(日) 発行 6月第2週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)
開始 11時 (第二礼拝)

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **【神の愛を知ろう】** 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「マルコ10：47-49
彼は、ナザレのイエ
スがおられると聞い
て、「ダビデの子の
イエス様、私を
あわれんでくださ
い」と叫び始めた。

多くの人たちが彼を
黙らせようとたしな
めたが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその目の見えない人を呼んで、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたを呼んでおられる」と言った。

とりあってくださる主

めだが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその目の見えない人を呼んで、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたを呼んでおられる」と言った。

スリランカの女性

今年3月に、スリランカの留学生のウィシュマさんという女性が、収容されていた名古屋出入国残留管理局（以下、入管）で亡くなりました。33歳という若さでした。彼女は日本人に英語を教える教師になるのが夢で来日し、日本語学校に通っていました。しかし付き合い合った男性から暴力を受け、助けを求めて警察に駆け込んだ時に不法残留が発覚してそのまま入管に送られました。仕送りが途絶えて学費が払えなくなり、日本語学校を退学処分になっていたからです。彼女は病も抱えていましたが、収容先で症状が悪化していたにもかかわらず、適切な治療を受けることがで

きず、収容所で亡くなってしまったのです。

先月初旬に、スリランカから彼女の二人の妹が来日しました。日本を大好きだった姉がなぜこんなことになってしまったのか、この目で確かめたいという切なる思いでの来日でした。彼女たちは日本に好意を持ち、日本政府に信頼し、日本に行けばきっと納得のいく説明をしてもらえんと思っていました。しかし残念なことに、期待していたような説明は受けられず、記者会見では、「入管側の説明は、何かを隠してうそをついているように感じた、日本政府に失望した。」と語っていました。真相を確かめるまでは帰れないと言われていました。

まともにとりあわない

ウィシュマさんは収容されている間に、ある支援団体に助けを求めていました。彼女から相談を受けて、彼女が適切な取り扱いを受けられるようにと、彼女の代わりに入管に訴えて、聞き入れられなかったという職員が取材のインタビューに答え、「入管はウィシュマさんにまともにとりあっていない。」と証言していました。ある弁護士は、「人を拘束しておいて死なせてしまったら、当然拘束した側の責任です。」と言っていますが、入管は過失と認めていないようです。もちろん入管にも言い分があるので

しょう。しかし、先進国と言われる日本で、なぜそんなことが起きてしまうのかと、多くの人が怒りを感じるできごとではないでしょうか。

とりあうことは愛すること

とりあうということは、関わること、相手にすることです。たとえば子どもが、お父さんやお母さんに「遊んでほしい」と求める時、相手にしてあげれば子どもはとても喜び安心します。子どもが大きくなってからでも、話を聞いてほしいと願う時、聞いてあげれば安心し、親子の信頼関係が深まります。大人も同じです。たとえば妻が夫に、今日あったできごとや、子どもに関する悩みなどの話をしようとするとき、夫がとりあってくれて、話を聞き、一緒に考えてくれれば妻は平安です。職場や学校などの人間関係においても同様でしょう。とりあうことは愛することです。ですが日常生活の中では、忙しいなどの理由で、とてもとりあってられないということがあります。しかし忙しくても後でフォローができればよいのですが、それもせずにとりあうことを軽んじていると、問題が起こってきます。

前述のスリランカの女性のできごとは、国の機関が一人の留学生にまともにとりあわなかった結果起こった深刻な事態です。真相はまだ解明されていませんが、証言があるように、入管がウィシュマさんに、まともにとりあっていなかったことは確かです。

もし彼らがウィシュマさんを、たとえ不法残留であっても日本を愛する一人の留学生としてごく普通に接し、病の治療に関しても、愛を持って対応していれば、こんな悲惨な結果にはならなかったのではないかと思われてなりません。現に今回のケースは、氷山の一角なのだそうです。

とりあってくださる主

冒頭のみことばは、イエス様がエリコという町の近くで、バルティマイという盲人を癒やされた時のできごとです。イエス様が近くにおられると知った彼は、「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と叫び始めました。人々はとりあわず彼をだまらせようとしました。しかしイエス様は立ち止まり、彼を呼んでくるようにと言われました。そして彼が願うと、すぐに目が見えるようにしていただきました。

主は私たちが愛してくださり、信じて求める者、訴える者を決して見捨てず、とりあってくださる方です。ですから私たちは安心して主に願うことができます。そして主は、主がしてくださったのと同じように、私たちが周りの人々を愛することを望んでおられます。ですから私たちも愛をもって、周りの人にとりあう者となって参りましょう。「人からしてもらいたいと望むとおり

に、人にしなさい。（ルカ6：31）」